

No.30	事業名 橋りょう長寿命化	2024 年度 予算額	529,858 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

道路法に基づき橋梁定期点検を実施し、その点検結果をもとに長寿命化修繕計画を策定するとともに、補修設計、補修工事を計画的に行うことで、車両や歩行者交通の安全確保と橋梁長寿命化を図る。

また、2024年度は、2023年度までに実施した橋梁定期点検の結果をもとに、橋梁長寿命化修繕計画の更新作業を実施する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

橋梁補修工事、橋梁補修設計、橋梁定期点検、修繕計画策定

(2) 事業期間

2009年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2024年度予算

(1) 予算額（補助率・負担率等）

529,858千円

道路メンテナンス事業費補助金 57.75%

公共事業等債 90%

過疎債 100%

辺地債 100%

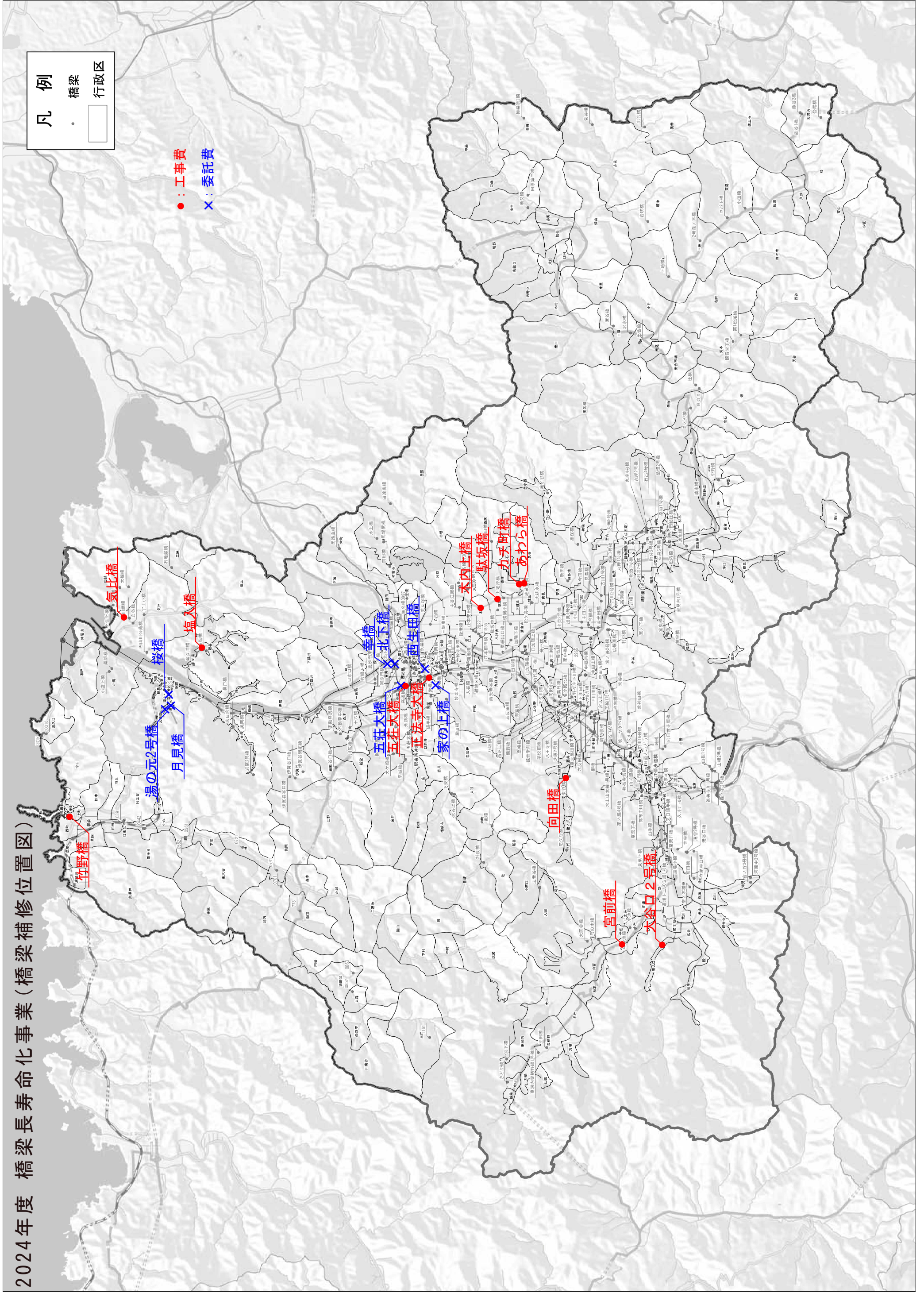
(2) 事業内容

橋梁補修工事	五荘大橋外 11 橋
工事委託	五荘大橋
橋梁補修設計	北下橋外 6 橋
橋梁長寿命化修繕計画策定	1 式
物件補償	ロクロ橋
資材単価特別調査	1 式

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-1

2024年度 橋梁長寿命化事業（橋梁補修位置図）



No.31	事業名 上野橋整備	2024 年度 予算額	75,256 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道上野線は、国道 426 号と県道寺坂福住線を結ぶ生活に密着した幹線道路であるが、上野橋の幅員が狭小で、老朽化が著しく大型車の通行に支障をきたしている。

また、周辺には工場や市の分譲宅地もあることから、早急に橋梁架替を行うことにより、車両や歩行者通行の安全、安心を確保する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

橋梁予備設計、橋梁・道路詳細設計、路線・用地測量、用地買収
本工事（上部工、橋台工、橋脚工、旧橋撤去工、道路改良工）

(2) 事業期間

2015 年度～2026 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

1,517,423 千円

3 2024 年度予算

(1) 予算額

75,256 千円（防災・安全交付金 57.75%、公共事業等債 90%）

(2) 事業内容

道路改良工事 N=1 式

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3-1

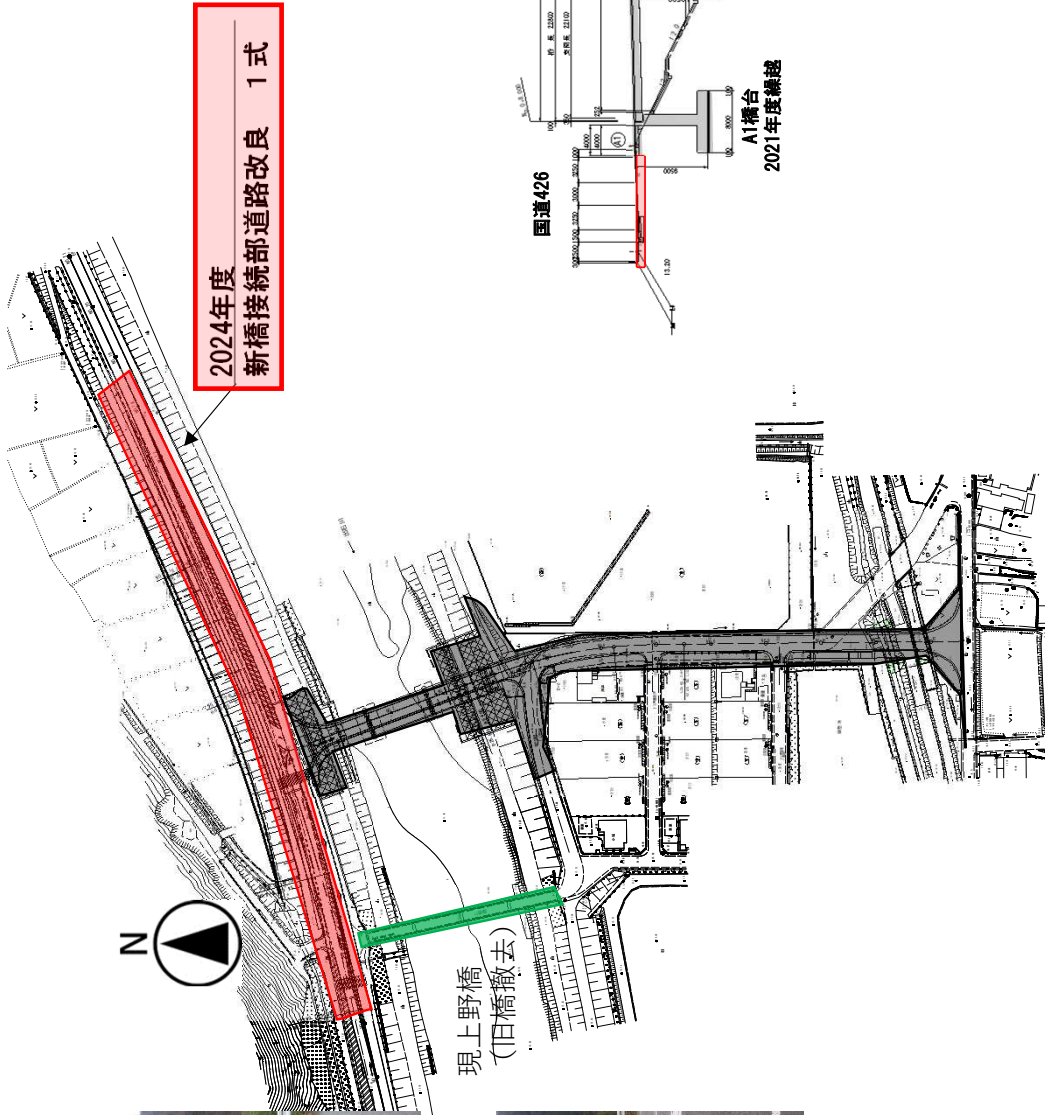
上野橋整備



現在の上野橋（左岸市道上野線から）

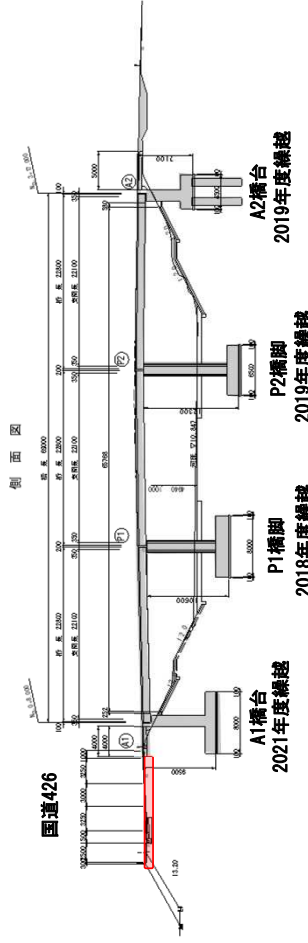


現在の上野橋（右岸国道426号から）



工事施工年度	
完成箇所	■
2024年度	■
2025年度以降	■

上野橋 橋梁一般図



No.32	事業名	交通安全施設整備（通学路グリーンベルト設置等）	2024 年度 予算額	27,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

摩耗により消失した道路区画線設置を行うとともに、道路の路肩カラー表示により、歩行者の安全な空間を確保し、交通事故防止を図る。

また、2024 年秋に北近畿豊岡自動車道の豊岡出石 IC が供用予定であり、道路利用者を円滑に目的地へ誘導するための標識を設置する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

通学路グリーンベルト設置
区画線設置
標識設置

(2) 事業期間

2013 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2024 年度予算

(1) 予算額

27,000 千円 ※一部交通共済組合設立基金分配金を活用

(2) 事業内容

通学路グリーンベルト設置	L=2,800m	京極線外	(京町外)
区画線設置	L=4,300m	小田井九日市線外	(小田井町外)
標識設置	N=8箇所	三坂納屋線外	(九日市下町外)

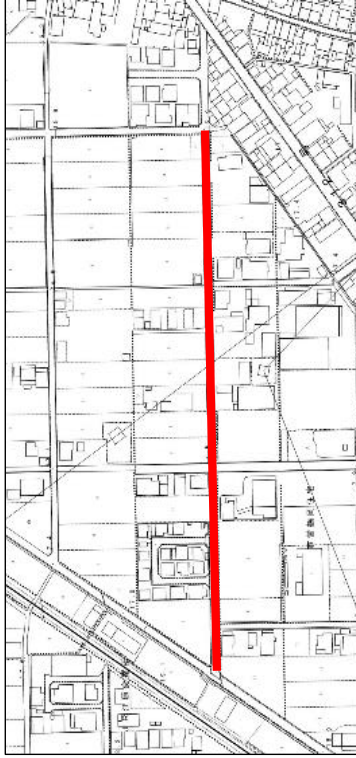
担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-4-3-1

2024年度 グリーンベルト施工予定箇所

市道名	地区	路線延長	のべ延長
① 鶴岡石郡旧県道線	日高	0.4 km	0.8 km
② 卸団地八崎団地線外	豊岡	0.2 km	0.4 km
③ 京極線	豊岡	0.4 km	0.8 km
④ 気比浜線	豊岡	0.4 km	0.8 km
合計		1.4 km	2.8 km

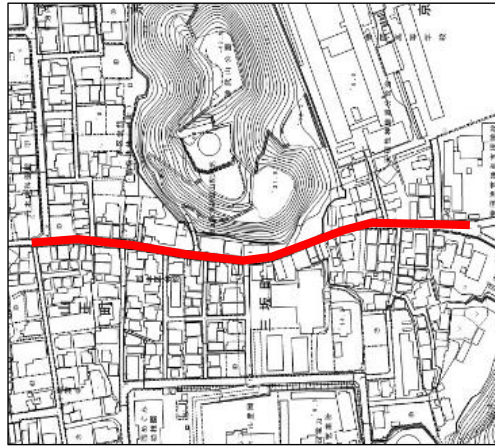
① 鶴岡石郡旧県道線



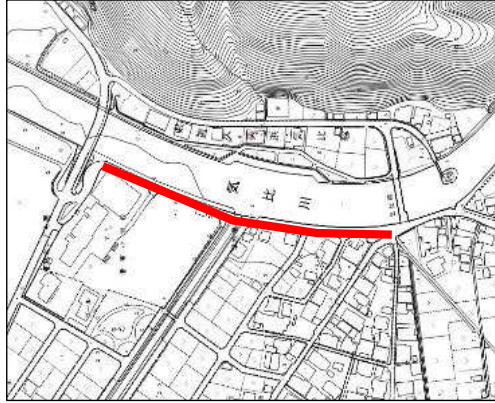
② 卸団地八崎団地線



③ 京極線



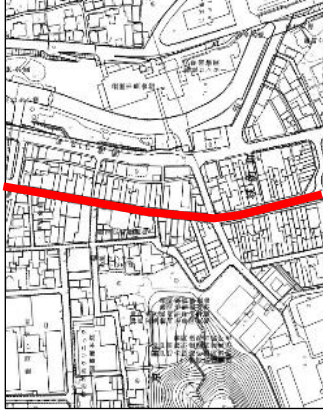
④ 気比浜線



2024年度 区画線施工予定箇所

市道名	地区	路線延長
① 小田井九日市線	豊岡	1.0 km
② 常磐線	豊岡	0.7 km
③ 龜山線 外	豊岡	0.8 km
④ 京極線	豊岡	0.3 km
⑤ 文教府戸牧団地線	豊岡	0.6 km
⑥ 戸牧第2団地連絡線	豊岡	0.9 km
合計		4.3 km

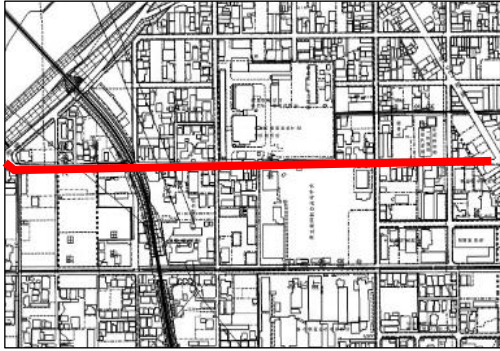
① 小田井九日市線



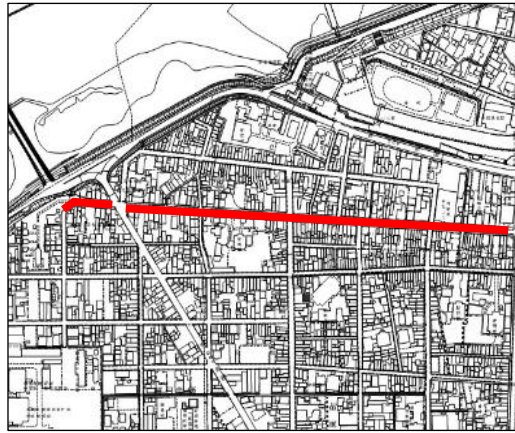
③ 龜山線 外



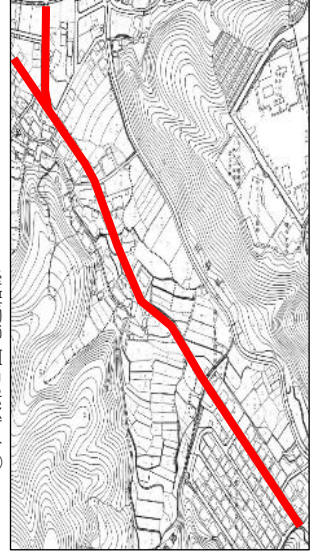
② 常磐線



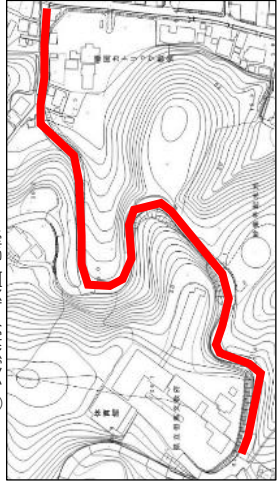
④ 京極線



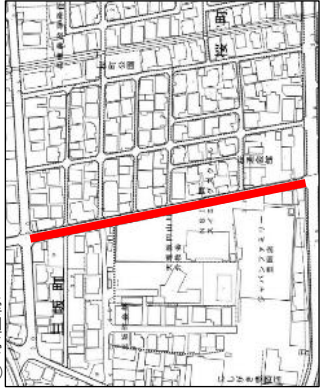
⑥ 戸牧第2団地連絡線



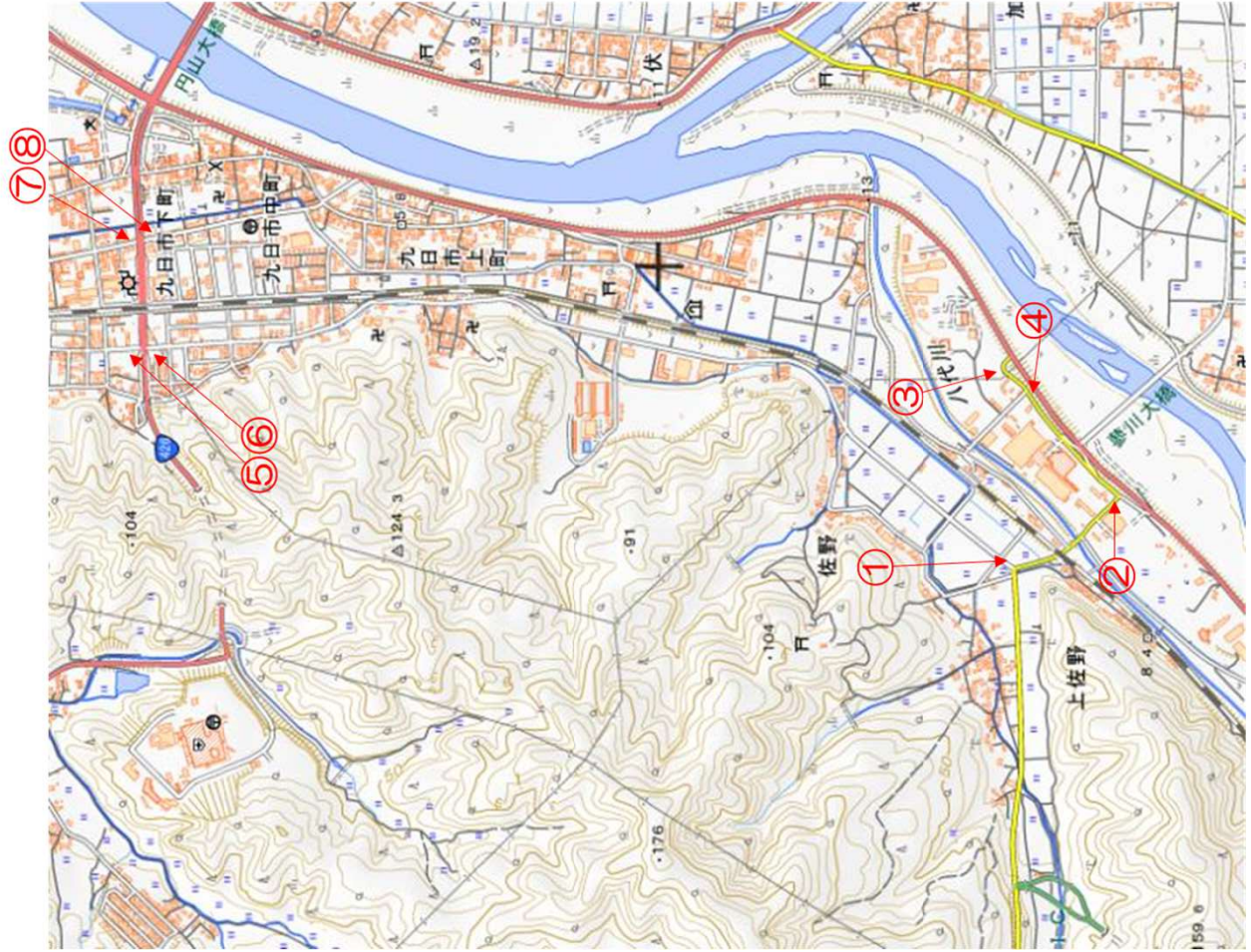
⑤ 文教府戸牧団地線



④ 京極線



標識設置位置図



設置箇所①



設置箇所②



設置箇所③



設置箇所④



設置箇所⑤ 無地PVシート撤去、補助標識（旧鹿空港）設置



設置箇所⑥ 無地PVシート撤去、補助標識（旧鹿空港）設置



設置箇所⑦ 無地PVシート撤去



設置箇所⑧ 無地PVシート撤去



No.33	事業名	地域交通の維持・利用促進	2024 年度 予算額	525,563 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市民の移動を支える地域交通を取り巻く環境が厳しさを増す中、将来にわたって市民の日常生活を支える交通ネットワークを維持確保していくため、実効性のある利用促進に取り組むとともに、交通体系の再編による持続可能な仕組みを構築する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア バス交通

- (ア) 地方バス等公共交通維持確保対策事業
国県と協調した路線バスの運行支援
- (イ) 有償旅客運送運行管理業務（市町村運営交通空白地有償運送）
市営バス「イナカー」、地域主体交通「チクタク」の運行
- (ウ) 市街地循環バス運行事業
市街地循環バス「コバス」の運行支援
- (エ) 高校生通学バス定期券購入補助事業
市内高校生が通学に利用するバスの定期券購入に要する費用の一部補助
- (オ) 竹野南地区新交通モード実証運行業務
デマンド（予約）型乗合運送サービスの実証運行

イ 鉄道交通

- (ア) JR 山陰本線の利用促進
 - a JR 山陰本線利用促進事業実施業務
 - ・JR 竹野駅利用促進事業「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施・拡大
 - ・トライやるウィークにおける公共交通利用助成 新規
 - b 竹野駅乗車券類等販売業務
JR 竹野駅での乗車券類等の販売業務を（一社）だけの観光協会へ委託
- (イ) 京都丹後鉄道の運行支援
 - a 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助
輸送の安全確保のため、線路、電路、踏切、信号保安設備等の設備整備費を支援
 - b 北近畿タンゴ鉄道安全運行維持助成費補助
線路、電路、車両の維持管理等に要する経費を支援

ウ 空港利用促進

- 豊岡市コウノトリ但馬空港利用促進協議会への補助
- (ア) 航空運賃助成
一般航空運賃助成、小学生社会見学、【開港 30 周年記念事業】学生（小・中・高・大学）応援キャンペーン 新規
 - (イ) 広報・宣伝活動の強化 新規
大阪・関西万博 PR 事業、サマースクール誘致、コウノトリフォトコンテスト

エ 公共交通利用促進

e 通勤プロジェクト、豊岡ノーマイカーデー、バス待合施設整備事業費補助、
トライやるウィークにおける公共交通利用助成〔再掲〕**新規** など

3 2024 年度予算

予算額

525,563 千円

(内訳)

バス交通対策事業	326,156 千円
鉄道交通対策事業	85,970 千円
公共交通利用促進事業	7,114 千円
但馬空港利用促進事業	99,423 千円
基金管理費	6,900 千円

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

施策体系番号 3-2-4-3

No.34 事業名 中央公園の整備	2024 年度 予算額	19,790 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市民体育館の廃止・解体に伴い、跡地を含めて中央公園を整備拡充し利用者の利便増進を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

老朽化が進んでいる市民体育館を解体・撤去し、跡地を中央公園の利用ニーズに応じ利便増進を図る。

(2) 事業期間

2024 年度～2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

未定（実施設計により工事費を算出）

3 2024 年度予算

(1) 予算額

19,790 千円（合併特例事業債 95%）

(2) 事業内容

市民体育館解体実施設計

中央公園整備実施設計



担当課名【都市整備課】（内線 2495）

施策体系番号 3-2-6-1

No.35 事業名 住宅耐震改修促進	2024 年度 予算額	17,452 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

耐震性がないとされる 1981 年（昭和 56 年）5 月 31 日以前に着工された住宅について、まず住宅を所有される方が簡易耐震診断を受けて住宅の耐震性を知っていただき、耐震性なしと診断された場合には、耐震改修工事費の補助及び耐震改修工事と同時に行うリフォーム工事費用の補助により、所有者が住宅耐震改修工事に取り組むことを支援



振動実験結果 出展：独立行政法人防災科学技術研究所

する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 簡易耐震診断の推進（個人負担無料）

イ 豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金【交付金事業】

(ア) 全体補強型

- ・計画策定費補助（補助率 2/3 上限 20 万円）
- ・改修工事費補助（補助率 4/5 上限 120 万円）

(イ) 部分補強型

- ・簡易耐震改修工事費補助（補助率 4/5 上限 50 万円）

(ロ) 防災ベッド等設置型

- ・防災ベッド等設置費補助（定額補助 10 万円）

ウ 豊岡市住宅耐震リフォーム工事費補助金【市単補助】

(ア) 居室等補強型

- ・耐震リフォーム工事費補助【一般型】（補助率 1/6 上限 50 万円）
- ・耐震リフォーム工事費補助【特別型】（補助率 1/3 上限 60 万円）

(イ) 豊岡市住まいの耐震化促進事業加算型

- ・リフォーム工事費補助（補助率 1/6 上限 30 万円）

※豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金における、全体補強型または部分補強型の補助金交付決定を受けた方

(2) 事業期間

2017 年度～2025 年度

(3) 事業主体

1981 年（昭和 56 年）5 月 31 日以前に着工された市内の住宅の所有者

3 2024 年度予算

(1) 予算額

17,452 千円

(2) 主な事業内容

ア 簡易耐震診断(50 戸)	1,575 千円
イ 豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金 全体補強型(4 戸) 部分補強型(1 戸) 防災ベッド等設置型(1 戸)	6,200 千円
ウ 豊岡市住宅耐震リフォーム工事費補助金 居室等補強型一般型(15 戸) 居室等補強型特別型(1 戸) 豊岡市住まいの耐震化促進事業加算型(5 戸)	9,600 千円

担当課名【建築住宅課】（内線 2461）

施策体系番号 1-1-1-2

No.36	事業名	豊岡市危険空家除却支援事業補助	2024 年度 予算額	3,330 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

全国的に居住目的のない空家が増加し、今後も更に増加する見込みである。このため国は、特定空家（周囲に著しい悪影響を与える空家）になってからの対応では限界があるとして、特定空家化を未然に防止するための管理を促す措置などを盛り込み、2023年12月に空家等対策の推進に関する特別措置法の改正を行った。

本市においても空家の増加傾向は同様で早期の対策が必要となっており、保安上危険となるおそれのある空家に対する除却費補助制度を創設し、所有者自身による早期除却を促す。



2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 補助金額

補助対象経費の1/6以内とし、333千円を上限とする。

イ 補助対象となる空家

市内に存する空家で、次の要件をすべて満たしているもの。

- ・主として居住の用に供されていたもの。
- ・補助金交付要綱に定める危険空家判定基準により判定を行い、一定の点数以上となったもの。
- ・周辺に危険が及ぶ可能性がある空家で、補助金交付要綱に定める周辺危険度判定基準を満たしているもの。

(2) 事業期間

2024年度～2028年度

(3) 事業主体

空家の所有者、相続人等

3 2024年度予算

(1) 予算額

3,330千円

(2) 事業内容

豊岡市危険空家除却支援事業補助金 10件 3,330千円

担当課名【建築住宅課】（内線 2461）

施策体系番号 3-2-2-1

No.37	事業名 地籍調査事業	2024 年度 予算額	43,790 千円	新規 拡大 継続
-------	------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、あわせて地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。（国土調査法第1条）

2 全体の事業内容

(1) 内 容

土地一筆ごとに、所有者、地番及び地目を調査し、境界の確認及び面積の測量を行い、成果として地籍図及び地籍簿に取りまとめ、明確にする。

成果の写しを法務局に送付し、法務局が登記の変更をすることにより、①土地境界のトラブル防止、②土地取引の円滑化、③公共事業の早期完成、④山林の保全管理、⑤土砂災害や震災等の際の速やかな復旧、⑥土地課税の公正公平化に役立つ。

(2) 事業期間

2006 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 未定

負担率 県営事業 国 50%、県 50%

市営事業 国 50%、県 25%、市 25%



一筆地（現地立会）調査状況

3 2024 年度予算

(1) 予算額

43,790 千円

(2) 事業内容

【実施大字】 但東町西谷、出石町荒木、中陰、森津、宮井、城崎町楽々浦（6 大字）

【事業量】 調査図素図作成、図根三角測量 1.07k m²
一筆地（現地立会）調査、詳細測量 0.41k m²
地籍簿（案）・地籍図（案）作成、閲覧 1.70k m²

(3) その他

2024 年度末事業進捗率見込み 単年度 0.3%、累計 14.3%

担当課名【地籍調査課】（内線 2382）

施策体系番号 3-2-1-3

No.38	事業名 災害対応ドローンの導入	2024 年度 予算額	4,664 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

災害対応ドローンを導入し活用することで、災害発生時に俯瞰的視点からの情報収集を可能とし、被害状況や災害推移の把握、効果的な部隊運用による被害の軽減、消防・防災力の向上、消防活動及び安全管理の効率化を図る。

2 2024 年度予算

(1) 内 容

ア 災害対応ドローン一式の整備

ドローン本体及び画像伝送システムの導入、運用上必要となる資機材を整備する。

イ ドローン操縦士の育成

運用上の安全管理とコンプライアンスの遵守を図るため、国家ライセンスを年次計画的に取得させ、安定的運用を図る。

(2) 事業期間

2024 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 予算額

4,664 千円（緊急防災・減債事業債 100%）

3 活用用途

長時間の活動を要する火災、救助捜索活動、情報収集活動、広域災害対応、調査・警戒活動等に活用する。

【災害対応ドローン】



【災害現場上空からの俯瞰画像】



担当課名 【消防本部警防課】（内線 3806）

施策体系番号 1-1-2-1

No.39 事業名 城崎振興局の取組み	2024 年度 予算額	30,331 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

年間を通じて安定した観光客を確保するため、城崎温泉の魅力を上させる取り組みと、伝統工芸の「麦わら細工」を振興する。また、城崎地域における公共施設の再編整備を推進する。

2 2024 年度予算

(1) 予算額 30,331 千円

(2) 事業内容

ア 城崎振興局プロジェクト

(ア) 城崎温泉夢花火事業

事業内容：城崎温泉で夏期（夏休み期間中の平日）に行われる花火打上げに対して支援する。
 事業費：上限5,000千円（対象経費の1/2以内）
 事業主体：（一社）城崎温泉観光協会



(イ) 柳・桜並木整備事業

事業内容：城崎温泉の景観を形成する大谿川沿い並木の健全な生育を図るため、剪定、植替え等を実施する。
 事業費：1,524 千円
 事業主体：豊岡市



(ウ) 麦わら細工振興事業

事業内容：市内の児童を対象に、「麦わら細工」についての学習会と、製作体験を実施する。
 事業費：287 千円
 事業主体：豊岡市



- (エ) 城崎・港未来づくり補助事業 **新規**
事業内容：市民と共創する行政を目指し、城崎・港地域の地域課題や将来を見据えた取組みに対して、事業費の1/2（上限30万円）を助成する。
事業採択に際しては市民を含めた審査会にて審査する。
事業費：1,000千円
事業主体：補助対象事業者

イ 城崎観光施設管理費

- (ア) 城崎温泉交流センター基本計画策定業務 **新規**
事業内容：城崎地域公共施設集約化とし、「城崎温泉交流センター」を「城崎文芸館」と「城崎麦わら細工伝承館」を集約した施設に建て替える基本計画を策定する。

事業費：3,700千円
事業主体：豊岡市



- (イ) 城崎温泉交流センター解体実施設計業務 **新規**
事業内容：城崎地域公共施設集約化とし、「城崎温泉交流センター」を「城崎文芸館」と「城崎麦わら細工伝承館」を集約した施設に建て替える。このため2024年度は「城崎温泉交流センター」の解体実施設計を行う。

事業費：8,120千円
事業主体：豊岡市

ウ 庁舎管理費

- (ア) 城崎庁舎改修工事
事業内容：城崎温泉交流センターの建替と、城崎健康福祉センターの売却を含む民間活用を想定している。そのため、両施設内に事務所を構える豊岡市商工会城崎支部及び豊岡市社会福祉協議会城崎支所については、事務所移転が必要であるため、城崎庁舎を改修し、これらの団体の事務所として整備する。

事業費：10,700千円（改修工事 10,000千円、監理業務 700千円）
事業主体：豊岡市

担当課名【城崎振興局地域振興課】（内線5002）

施策体系番号 6-1-1-2

No.40	事業名	竹野振興局の取組み	2024	54,130 千円	新規 拡大 継続
			年度 予算額		

1 事業目的（趣旨）

地域の情報発信や地域の特色を活かした事業の推進、並びに若者を中心とする方々との意見交換会である「若者会議」により発案された事業を実施することにより、人口減少の緩和と地域振興を図る。

また、振興局機能を維持するため、竹野庁舎の改修を行う。

2 2024 年度予算

(1) 予算額 54,130 千円

(2) 事業内容

ア 竹野振興局プロジェクト事業

(ア) たけの海上花火大会事業

事業内容：竹野地域の知名度及び地域経済活性化の向上に寄与されるたけの海上花火大会への支援を行う。

事業費：5,000 千円

事業主体：竹野町海上花火大会実行委員会



(イ) 竹野焼杉板景観保全事業

事業内容：竹野駅から竹野浜間を対象地域として、家屋の外壁に焼杉板を使用することに対して材料費の1/3（上限20万円）を補助する。

事業費：800 千円

事業主体：豊岡市



(ウ) 竹野のお仕事図鑑作成事業（若者会議からの発案事業） 新規

事業内容：竹野地域で働いている若者たちを紹介する「竹野のお仕事図鑑」を作成し、ホームページや移住イベント等で情報発信することで、竹野地域の移住・定住者の増加につなげる。

事業費：1,122 千円

事業主体：豊岡市

(エ) 竹野地域空き家対策事業（若者会議からの発案事業） 新規

事業内容：地域全体で空き家問題への意識を変えていただくため、区長や地域住民向けに説明会の開催や啓発資料の作成を行う。

事業費：270 千円

事業主体：豊岡市

(オ) 川湊再生プロジェクト後継検討事業

事業内容：竹野浜地域を中心に展開してきた川湊再生プロジェクト事業を、竹野地域全体にエリアを拡大し、あわせて関係人口の増加を図るべく地域内の関係団体等と協議を行い、新たな事業実施に向けた検討を行う。

事業費：272 千円

事業主体：豊岡市

イ 庁舎管理費

(7) 竹野庁舎改修実施設計業務・庁舎照明 LED 化工事

事業内容：竹野庁舎の省エネ化及び脱炭素の推進を図るため、照明の LED 化工事及び空調設備の高効率化に向けた実施設計等を行う。

事業費：46,666 千円

事業主体：豊岡市

担当課名【竹野振興局地域振興課】（内線 5210）

施策体系番号 6-1-1-3

No.41 事業名 日高振興局の取組み	2024 年度 予算額	74,026 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高で暮らす若者の増加を目指し、観光事業等による地域の活性化、協働のまちづくりや日々人生を楽しむまちづくりの推進、移住・定住の促進、交流人口の拡大を図る。

2 2024 年度予算

(1) 予算額 74,026 千円

(2) 事業内容

ア 日高振興局プロジェクト事業

(ア) 日高地域づくり運営事業

事業内容：若者や子育てグループ等のまちづくりに対する提言を振興局プロジェクトに反映させるなど協働のまちづくりを推進する。

事業費：100千円

(イ) 日高地域の先輩に学ぶ授業

事業内容：日高地域で仕事などを頑張っている人が先生となって、中学生（日高東・西中学校）に対して体験談や考え方を伝える授業を実施する。

事業費：60千円

イ 観光事業

(ア) 道の駅「神鍋高原」改修整備事業

事業内容：道の駅の長寿命化と機能強化を図る改修整備工事を行うための実施設計業務を実施する。

事業費：10,766千円



(イ) 湯の原温泉オートキャンプ場民営化事業 新規

事業内容：施設用地の境界設定及び面積測量を行い、施設民営化に向けた条件を整理する。

事業費：2,211千円

(ウ) 日高夏まつり事業

事業内容：日高夏まつり事業について補助支援する。

事業費：1,000千円

ウ 植村直己顕彰事業

日高が生んだ世界的な冒険家 植村直己の「挑戦する心」を伝承し、未来を担う子どもたちや、夢に向かって努力する人々の「挑戦」を応援する取組みを実施する。

(7) 植村直己冒険賞を核とする顕彰事業の実施

事業費：7,007千円



2022「植村直己冒険賞」受賞者の野村良太さん

(イ) 植村直己冒険館の維持管理運営

事業費：52,882千円



担当課名【日高振興局地域振興課】（内線 5402）

施策体系番号 6-1-1-4、3-1-2-2、3-1-2-3、5-1-2-1

No.42 事業名 出石振興局の取組み	2024 年度 予算額	4,870 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2024 年は有子山城が築城され 450 年、出石城が築城され 420 年の記念の年となる。この機を捉えて、有子山城・出石城を中心としつつ出石城下町全体の歴史的価値を広く広報・啓発する取組みを官民協働で展開することにより、出石地域の観光振興、まちづくりの起爆剤とする。

2 2024 年度予算

(1) 予算額 4,870 千円

(2) 事業内容

ア 有子山城築城 450 周年・出石城築城 420 周年事業 新規

(ア) 有子山城築城 450 周年シンポジウム開催への補助

事業内容：有子山城を築城した山名氏と東西、近隣の諸勢力との攻防を巡る戦国の情勢を中心議題として、その関係の専門家を迎えて開催されるパネルディスカッションの経費に対して補助を行う。

日程（予定）：2024 年 12 月 1 日（日） 会場：出石永楽館

講師・コーディネーター（予定） 奈良大学 特別教授 千田 嘉博 氏

事業費：2,300 千円（補助金）

事業主体：有子山城築城 450 周年事業実行委員会

（構成員：NPO 法人但馬國出石観光協会、㈱出石まちづくり公社、豊岡市商工会出石支部、有子山城跡を登ろう会、豊岡市出石振興局）

(イ) 有子山城築城 450 周年・出石城築城 420 周年記念出石の歴史公開講座への補助

事業内容：有子山城・出石城築城周年記念事業として、出石の歴史・文化を周知・啓発するため開催される公開講座の経費に対して補助を行う。

事業費：70 千円（補助金）

事業主体：有子山城築城 450 周年事業実行委員会



有子山城跡

イ 出石お城まつり補助事業

事業内容：地域活性化、槍振りの後継者育成を目的として、また有子山城築城450周年・出石城築城420周年記念イベントの一つとして開催される第52回出石お城まつりの開催経費を補助する。

事業費：2,500千円

事業主体：出石お城まつり実行委員会



出石城 隅櫓



出石お城まつり 槍振り

担当課名【出石振興局地域振興課】（内線 5607）

施策体系番号 6-1-1-5

No.43 事業名 但東振興局の取組み	2024 年度 予算額	11,357 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

但東地域では、「人口が少なくても、住み続けられる」を目的に、地域に関わる人を増やすため、「地域のことがジブンゴトになっている」「交流人口が増えている」など、但東地域で暮らす魅力を高めていくための取組みを行う。

2 2024 年度予算

(1) 予算額 11,357 千円

(2) 事業内容

ア 但東振興局プロジェクト事業

(ア) 地域との協働による空き家利活用促進

事業内容：空き家を利活用して交流人口を増やすとともに、若い世代の移住定住を促進する。資母・合橋・高橋地区コミュニティ組織が調査している“空き家情報”について、利活用を活発化させるための具体的な方法を定める。移住定住ポータルサイト「飛んでるローカル」掲載物件を充実させる。

事業費：327 千円

事業主体：豊岡市

(イ) 若者会議（TANTO ミーティング）

事業内容：地域課題に関わる若者を増やすため、共通の趣味やテーマをもとに集まり“まちの未来や希望”も語り合える場を創出する。

事業費：230 千円

事業主体：豊岡市



イ 但東観光施設管理

事業内容：たんとうチューリップまつり開催事業費補助

事業費：2,000 千円（対象経費の 1/2 以内：上限 2,000 千円）

事業主体：たんとうチューリップまつり実行委員会



ウ 但東シルク温泉やまびこ管理 新規

事業内容：地域振興の拠点施設である但東シルク温泉やまびこの安定的な稼働・運営と利用者の利便性向上のため長寿命化計画を策定する。

事業費：8,800 千円

事業主体：豊岡市

担当課名【但東振興局地域振興課】（内線 5802）

施策体系番号 6-1-1-6、3-1-2-2

No.44 事業名 (仮称) 竹野学園の整備	2024年度 予算額	予算 663,805 千円 債務負担行為 742,392	新規 拡大 継続

1 事業目的 (趣旨)

「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画」に基づき、竹野小学校と竹野中学校を豊岡市で初めての義務教育学校として「(仮称)竹野学園」に再編する。これにより、現在すすめている小中一貫教育をより一層実効性のあるものとする事ができるほか、地域独自の特色ある教育が可能となるなど様々な教育効果が期待できる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

竹野中学校の敷地に竹野小学校の機能を移転し、義務教育学校を設置する。既存の竹野中学校の校舎を最大限利用し、不足する教室については南側グラウンドに増築して既存校舎と接続する。あわせて体育館への空調設備設置を行う。

(2) 事業期間

2023年度～2025年度 (2025年4月開校予定)

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費 (補助率・負担率等)

1,454,352千円

ア 実施設計業務 48,155千円 (2023年度)

イ 義務教育学校工事 1,385,139千円

(2024～2025年度 公立学校施設整備負担金：補助率 5.5/10、学校施設環境改善交付金：補助率 5.5/10 及び 1/2、過疎債 100%)

ウ 施工監理業務 21,058千円 (2024～2025年度 過疎債 100%)

3 2024年度予算

(1) 予算額

663,805千円 【債務負担行為/2025年度：742,392千円】

(2) 事業内容

ア	既存中学校棟改修工事	285,174千円
イ	低学年棟増築工事	256,701千円
ウ	体育館空調設置工事	67,926千円
エ	その他外構等工事	44,064千円
オ	施工監理業務	9,940千円



担当課名【教育総務課】 (内線 2701)

施策体系番号 4-1-3-1

No.45	事業名	三江小学校長寿命化改良工事	2024 年度 予算額	74,414 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

老朽化した学校施設について、子ども達が安心して学校生活を送るため、「豊岡市学校施設個別施設計画」に基づき、計画的な機能回復及び時代のニーズに応じた機能向上を図り、安全で質の高い教育環境を整備する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

三江小学校の校舎は、普通教室棟が築 39 年（S58 年 3 月建築）、特別教室棟が築 34 年（S63 年 3 月建築）経過しており、屋根や外壁、内装など広範囲にわたって老朽化がみられる。そのため、普通教室棟は長寿命化改良工事を実施し、特別教室棟は大規模改造工事を実施することで施設を健全な状態に保つ。

(2) 事業期間

2022 年度～2025 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

520,461 千円

ア 基本設計業務 18,633 千円（2022 年度）

イ 実施設計業務 14,525 千円（2023 年度 公適債 90%）

ウ 普通教室棟長寿命化改良工事 351,747 千円（2025 年度見込 学校施設環境改善交付金：補助率 1/3、学教債 75%）

エ 特別教室棟大規模改造工事 117,956 千円（2024～2025 年度見込 学校施設環境改善交付金：補助率 1/3、学教債 75%）

オ 施工監理業務 17,600 千円（2024～2025 年度見込 公適債 90%）

3 2024 年度予算

(1) 予算額

74,414 千円

(2) 事業内容

ア 特別教室棟大規模改造工事【I 期工事】 70,014 千円

建物内部の環境改善工事（老朽化した床・壁・天井の改修、ガラス断熱施工等）

イ 施工監理業務 4,400 千円



三江小学校 特別教室棟



外装劣化状況(塗装剥がれ)



内装劣化状況(クラック)

担当課名【教育総務課】（内線 2701）

施策体系番号 4-1-3-1

No.46	事業名	学校給食費の段階的改定	2024 年度 予算額	44,352 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

新型コロナやウクライナ情勢以降の急激な物価高騰に伴う食材料費の大幅な値上がりに対して、必要な食材料費を確保し給食の質や量、栄養バランスを保つため、物価上昇に対応した適正な水準の給食費を設定する。

また、保護者負担の急激な増加を緩和するため、児童生徒分の給食費の一部を公費負担しながら、保護者負担額を段階的に引き上げる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 2025年度以降の給食費（1食当たり食材料費）は、物価変動に連動させて毎年度決定する。

イ 給食費改定に伴う保護者負担額は2027年度まで4年かけて段階的に引き上げることとし、改定後の給食費と段階的に引き上げた額との差額を公費負担（3年間）とする。

(2) 事業期間

2024年度～2027年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

前年度比引上げ分賄材料費 120,415千円(2024～2027見込み)

うち児童生徒分公費負担額 52,010千円(2024～2026見込み)

3 2024年度予算

(1) 予算額

前年度比引上げ分賄材料費 44,352千円

うち児童生徒分公費負担額 25,634千円

(2) 事業内容

ア 1食当たり金額

食材料費は2023年10月以降と同額とする。保護者負担額は小学校で12円増の239円、中学校で13円増の271円とする。差額は公費負担する。

小学校			中学校		
食材料費	保護者負担額	公費負担額	食材料費	保護者負担額	公費負担額
263円	239円(12円増)	24円	299円	271円(13円増)	28円

イ 対象施設及び対象者数（教職員含む）

小学校 22校 4,124人分 中学校 9校 2,434人分

担当課名【教育総務課】（内線2701）

施策体系番号 4-1-3-1

No.47	事業名	校内サポートルームの設置と 支援員（不登校対策）の配置	2024 年度 予算額	30,161 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

不登校の児童生徒の学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

自分のクラスに入りづらい児童生徒の学校内の居場所を確保し、登校しやすい環境を整備するとともに、個に応じた学習や生活の支援を行うために、市内全中学校と児童数の多い4小学校に校内サポートルームを設置し、支援員を配置する。

(2) 事業期間

2024 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

校内サポートルーム支援員人件費（県補助金：補助対象経費の1/2）

校内サポートルーム環境整備費

3 2024 年度予算

(1) 予算額

30,161 千円

支援員人件費 25,661 千円

環境整備費 4,500 千円

(2) 事業内容

市内全中学校と児童数の多い4小学校（豊岡・八条・五荘・日高）に校内サポートルームを設置し、支援員を各1名配置する。あわせて、必要な空調設備を閉校した学校から移転設置して環境を整える。

- ・配置人数 13名（中学校に9名、小学校に4名）
- ・配置時間 週20時間（4時間×5日）
- ・空調設備移転設置工事 500千円×9台（中学校5台、小学校4台）

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

施策体系番号 4-1-3-2

No.48	事業名	小学校プールの外部施設利用	2024 年度 予算額	17,618 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

近年の猛暑により、屋外プールを使用している小学校では、水泳の授業を中止しなければならないことが多くなっている。このため、自校整備方式を改め、順次公設・民間のプール利用へ移行することにより、計画的な授業の実施を図る。また、外部指導員による専門的・効率的な水泳指導を実現する。加えて、プールの維持管理費用や、今後予想される老朽化による大規模改修等のコスト削減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

小学校のプールについて、自校整備方式を改め、民間事業者等と調整を図りながら順次、外部利用に移行する。また、外部利用が難しい場合、拠点となる学校のプールを複数校で利用することとし、外部指導員による水泳指導を実施する。

(2) 事業期間

2024 年度～

(3) 事業主体

豊岡市



2023 年度 出石 B&G 実施状況（寺坂小学校）

3 2024 年度予算

(1) 予算額

17,618 千円

（内訳）

業務委託料 14,400 千円

自動車借上げ料 3,218 千円

(2) 事業内容

モデル校 8 校で民間等のプール利用、複数校でのプール利用を行う。

ア 民間等のプールを利用

豊岡小学校、田鶴野小学校、神美小学校、府中小学校、八代小学校、福住小学校

イ 複数校でのプール利用

港小学校、城崎小学校

※港小学校を拠点校として 2 校で利用し、外部指導員による水泳指導を実施する。

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

施策体系番号 4-1-3-2

No.49	事業名	オンライン学習通信環境の整備補助	2024 年度 予算額	1,500 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

GIGA スクール構想によって児童生徒に1人1台整備されたICT端末等を家庭学習に活用することで、「個別最適な学び」の充実を図る。

2 2024 年度予算

(1) 予算額

1,500 千円 ※補助限度額 30 千円×50 世帯分

(2) 内 容

家庭に無線通信環境を持たない就学援助受給世帯を対象に、児童又は生徒がオンラインによる家庭学習を行うために新たに通信環境を整備に要した初期費用及び通信料の一部を補助する。この補助制度により、通信環境を持たない世帯への新規整備を促す。

ア 対象者

市立小中学校に在学する児童生徒の保護者で、就学援助の支給を受けている者。

イ 補助対象経費

通信環境の整備を行うために通信会社との契約により要した工事費、事務手数料その他費用（新たに通信環境整備を行った際に必要となった機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末を除く。）購入費を含む。）及び申請年度内の通信料の一部とする。

ウ 補助金の額

補助対象経費の額とし、30 千円を上限とする（1 世帯 1 回限り）。

(3) 事業期間

2024 年度～

(4) 事業主体

豊岡市

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

施策体系番号 4-1-3-2

No.50	事業名 放課後児童クラブの改修	2024 年度 予算額	32,104 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画」に基づき、閉園する幼稚園施設を放課後児童クラブの専用施設とするために必要な改修工事を行い、環境を整えることで放課後児童の健全育成を図るとともに、家庭の子育てと仕事の両立を支援する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 対象施設

日高幼稚園（2024年3月閉園）を放課後児童クラブの専用施設に改修し、日高放課後児童クラブ、日高第2放課後児童クラブを集約する。

イ 改修内容

各保育室に配置されている幼児用便所は、男女共用で便器等の規格も小さいことから、男女別の児童用便所を新設するとともに、老朽化の著しい空調設備を更新する。

(ア) 保育室の一角に児童用便所を新設（42.0 m²）

(イ) 幼児用便所器具等の撤去（5か所 41.3 m²）

(ウ) 空調設備の更新（保育室2室）

(2) 事業期間

2023年度～2024年度

(3) 事業主体

豊岡市



(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

34,661千円（子ども・子育て支援施設整備交付金 国 1/3）

（放課後児童クラブ整備事業費補助金 県 1/3）

3 2024年度予算

32,104千円

〔改修工事 29,846千円
〔工事監理 2,258千円

担当課名【幼児育成課】（内線 2531）

施策体系番号 4-1-1-4

No.51	事業名	※下水道事業特別会計 内水浸水想定区域図の作成	2024 年度 予算額	80,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

浸水被害を緊急かつ効果的に軽減するため、ソフト対策の1つとして、浸水想定情報を住民等へ公表周知することで被害軽減対策を促進する。

また、下水の計画降雨を対象として内水浸水想定を行うことで、浸水対策整備方針決定の参考とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

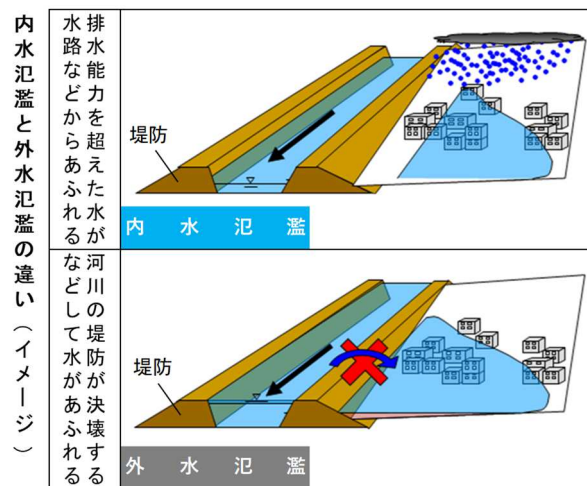
内水浸水想定区域図は、1000年に1回程度降る大雨に対し、浸水区域や浸水深などの情報を図示したものを作成する。

(2) 事業期間

2024年度～2025年度

(3) 事業主体

豊岡市



出典：国土交通省ホームページ（画像を一部加工して作成）
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000117.html

3 2024年度予算

(1) 予算額

80,000千円（社会資本整備総合交付金（防災・安全）1/2）

うち40,000千円は一般会計負担金

(2) 事業内容

内水浸水想定区域図作成業務 約1,740ha

4 作成の経過

2021年度の水防法改正により、公共下水道等で浸水対策を実施する全ての地方公共団体に対し、内水浸水想定区域図の作成と公表が義務化された。本市も下水道による浸水対策を有しており、内水浸水想定区域図の作成に取り組む。2025年度は、2024年度に行った業務成果を整理し公表を行う。

担当課名【下水道課】（内線 3660）

施策体系番号 2-3-2-2